

公 益 社 団 法 人

福岡県作業療法協会会報

第116号 平成26年7月15日発行

(事務局)

〒802-0044 福岡県北九州市小倉北区熊本1丁目9-1 ONE OFF第2ビル101号

T E L 093-952-7587 発行責任者 志井田 太一 編集責任者 菅沼 一平



特集：「小児のリハビリテーションについて」



巻頭言	「大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会 (JRAT) について」 副代表理事 竹中祐二（麻生リハビリテーション大学校）	・・・1
会長行動		・・・2
特集	小児のリハビリテーションについて 誠愛リハビリテーション病院 大石留美	・・・3
トピックス	平成26年診療報酬改定について	・・・6
理事会議事録		・・・11
WFOT開催！！		・・・15
各部・委員会からのお知らせ		・・・17
リレーエッセイ	株式会社リライブ リハデイ吉木 田中 聡 社会福祉法人 孝徳会 介護老人保健施設 リカバリーセンターひびき 米倉 裕樹	・・・23
Occupation	医療法人共和会 小倉リハビリテーション病院 三村 和礼	・・・24
会員動向調査		・・・25

巻 頭 言 「大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会 (JRAT) について」

副代表理事 竹中祐二（麻生リハビリテーション大学校）

蒸し暑い日が続いています。例年この季節は九州近県での大雨による災害が度々ニュースになります。平成24年7月の九州北部豪雨は記憶に新しいところで、ライフラインの復旧にも長い時間がかかり、多くの被災者を出しました。特に筑後の皆さまには大変なご苦労であったと思います。

東日本大震災以降、大規模災害時における支援活動には救命救助（DMAT）のみならず、それに引き続くリハビリテーションによる生活支援等が非常に重要であることが浮き彫りになりました。しかし、救命・救助後に続く仮設住宅での医療支援、地域医療再生、地域生活支援活動といったニーズに応える組織はなかった。そこで、リハ関連の団体が声を掛け合い、「東日本大震災支援リハ10団体」を組織し、手探りでその支援を行ない、発災後の医療支援において重要な役割を果たし、作業療法士も当初から被災者の自立に向けた重要な役割を担いました。

その後、同団体は発展的事業継続を担い大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会（JRAT）として再編され、適時適切に支援活動に参加できるような素地づくり（ネットワーク構築、研修会実施、教育・啓発など）を行うための活動を開始している。このような取り組みは、政府の国土強靱化（ナショナル・レジリエンス）推進につながる防災・減災の取り組みであり、国のリスクマネジメントでもあります。

福岡県では昨年末に、医師、PT、ST、ケアマネ、介護およびOTの各団体から1名ずつが災害リハビリテーションコーディネーター養成研修に集い、先進地域で行われているチームビルディングの手法やコーディネーターとしての基本を学びました。残念ながら、本県での取り組みは端緒についたばかりです。今後は県下の10団体とも協力し、県の災害支援プログラムとの連携を模索していくことになります。関連職種に対して、災害に関しての研修、勉強会の参加を促し、近県とも連携を行なうことなどが考えられています。被災された人たちの生活再建、自立に向けた取り組みは長期にわたるものなので、多くの会員の皆さまのご理解、ご協力が不可欠です。いつ起こるか分からない大規模災害だけに、本協会としても有事の際にも活用できる平時の体制作りとJRAT福岡の組織化および県との連携強化を急ぎたいと思います。



会長行動 (平成26年4月～6月)

- 4月1日 新事務所改修 視察
場所：小倉北区熊本町
平成26年度福岡県作業療法協会 臨時理事会 出席
場所：シダー事務所
- 4月12日 Q-ACT北九州オープニングセレモニー 出席
場所：北九州市立大学
- 4月13日 日本作業療法士協会 学会運営委員会 出席
場所：日本作業療法士協会事務所
- 4月25日 福岡県保健医療介護部高齢者支援課 参事来所（地域ケア会議アドバイザー派遣）
場所：北九州市立総合療育センター
平成25年度 福岡県作業療法協会 監事監査
場所：吉田秀樹税理士事務所
- 4月30日 福岡県作業療法協会 事務所移転
場所：北九州市小倉南区若園 ⇒ 北九州市小倉北区熊本町
- 5月12日 平成26年度第1回福岡県作業療法協会 理事会 出席
場所：らそうむスポーツガーデン
- 5月20日 平成26年度第1回北九州市すこやか住宅推進協議会 理事会 出席
場所：小倉リーセントホテル
- 5月29日 平成26年度北九州市すこやか住宅推進協議会 総会 交流会 出席
場所：小倉リーセントホテル
- 5月31日 平成26年度一般社団法人日本作業療法士協会 定時社員総会 出席
場所：笹川記念会館
- 6月1日 平成26年度公益社団法人福岡県作業療法協会 定期社員総会 出席
平成26年度公益社団法人福岡県作業療法協会 第2回、第3回 理事会 出席
場所：らそうむスポーツガーデン
- 6月17日 第16回世界作業療法士連盟大会（WFOT），第48回日本作業療法学会 参加
|
場所：パシフィコ横浜
- 20日
- 6月25日 北九州市手をつなぐ育成会 新理事長就任祝賀会 出席
場所：リーガロイヤルホテル小倉
- 6月29日 九州作業療法士会長会主催 地域ケア会議研修会 出席
場所：麻生リハビリテーション大学校



はじめに

前回小児のリハビリテーションに関してお伝えする機会を頂いたのは、二年前でした。

「小児のリハに関して」ということで、OTに近年大きく求められてきている「発達障害のリハ」「自閉症スペクトラムの理解」を中心として紹介させて頂きましたが、少しでも皆さんのお役に立つ内容をお伝え出来たでしょうか。

それ以降、以前はOTジャーナルなどで取り上げられる内容も、小児領域だと脳性麻痺児を中心とした肢体不自由児に関するテーマが殆どだったのですが、「発達障害」「特別支援教育」をキーワードとして企画されていることが最近は増えているように感じます。

また、子どもたちを取り巻く社会状況は制度的に大きな変化が起きているわけではありませんが、少しずつ理解が進み、市町村別での取り組みが進んできています。

勿論、文科省の特別支援学校モデル事業において、リハ専門職の配置・活用が組み込まれていますが、まだ実績としては来年度以降に報告されるものです。

筆者が勤務する誠愛リハビリテーション病院があります大野城市や周辺の地区では、大きな変化が二点起きました。

まず太宰府市において、未就学児を対象とした療育相談室（きらきらルーム）が平成24年9月に発足。就学に向けての支援事業が本格的に始まりました。

大野城市においても従来の療育事業に加えて、本年4月より「市教育サポートセンター」が開設。発達障害のみならず、様々な問題を抱える子どもたちとその保護者を、幼児期から小中学校まで一貫して支援する目的で取り組みが開始されました。こちらは全国的にもまだほとんどない珍しい取り組みとの事で、今後の展開に注目と期待が集まっています。

そんな中、今までも誠愛リハビリテーション病院としては、周辺市町村の療育事業（春日市：くれよんくらぶ、大野城市：いちご学級、筑紫野市：子ども療育相談室、那珂川町：にじいろキッズ等）とは、必要に応じてケースごとに連携を図りつつ取り組んできました。

勿論、幼保育園・通園施設・各種学校とも訓練見学や教育相談、紙面での情報提供など様々な形で関わらせて頂いています。今後もそういった機関や所属先と、役割分担を明確にしつつ、必要に応じて子どもたちを支援していく事を継続していければと考えながら、日々の業務にあたっています。

今回はまず、そういった子どもさんの所属先とそこにまつわる諸々のことを、ご紹介させて頂こうと思います。

万全の態勢で4月を迎えるために

今年の春も、当院を利用されている、もしくはされていた子どもさんが、多数入園・入学・進級をされました。

健常と言われているお子さんにとっても、特に入園・入学というのは大きな節目であり、子どもだけでなく親御さんにとっても準備にエネルギーを使うと思います。

では、発達に偏りや遅れがある場合、いつ頃から何の準備を始める必要があるのでしょうか。

一年前から動き始めていても早すぎるという訳ではありません。各市町村の窓口や療育機関・医療機関に相談しつつ、取り組みや支援体制・環境についての情報を集め、実際に見学もしながら御家族としての見解をまとめて頂く必要があるのです。何らかの発達検査を受けて頂き、IQなどの数値も判断材料の一つとしていくことも重要です（ただし、数値で全てが決まるわけではありません。あくまでも指標です）。

幼保育園は、発達に偏りや遅れがある場合、残念ながら人的・環境的にも安全管理が十分ではないという理由で、入園に対し慎重になられている場合がよくあります。

そのため「受け入れます」というスタンスの園に希望者が集中し、結果として入園出来ないこともあります。

特別支援学校でも、肢体と知的、両方併設の場合がありますし、地域の学校によっては、3つの特別支援学級（肢体・知的・情緒）全てを有さない場合もあります。市町村によっては通級制度を持たない場合（筑紫野市はありません）もあるな

ど、一言で「就学」と言っても様々なパターンがあるのです。

また、現実的な問題として、学校長や支援級の担任の先生によって、雰囲気ガラッと変わることもあります（教育機関は必ず新年度に移動があります。各先生3年ないし6年が目途です）。前年度の状況が、そのまま継続するというわけではない事もありますので、要注意です。

学校としては受け入れる気はあっても、スロープやエレベーターなどの設備がないといった問題も起きうるのです。

いずれにしても、居住する地区によって利用できる所属先は大きく異なりますので、御家族に頑張って情報を集めて頂くとともに、子どもさんに関わらせて頂くOTとしても、少しでも情報を持っておくことは小児のリハに携わっている場合は不可欠となってきます。

さて、秋頃から年明けの間に、所属先は随時決定していきます。決定したらそこで終わり、というわけではありません。実際に園や学校に親御さんに出向いて頂き、子どもさんの事について伝えて頂く必要があります。そのためには、親御さん自身がわが子の事について理解しておかなければなりません。理解した上で「こういったことが苦手だ。だけど、こんなサポートをしてもらえると上手くいく！」というやり取りを、所属先として頂かなくてはいけないのです。

この時大事なことは「これが出来ません」「これが苦手です」だけを所属先に伝えないということです。「苦手だけど、こんなサポートがあれば・・・」という支援のヒントも伝え、お互い歩み寄りながら支援体制を整えていくことが大切です。そのために、通園先によっては、サポートブックの作成を指導して下さることもあます。ADLや行動面に関して、個別に整理したものを親御さんに作って頂くのです。勿論、医療機関の私たちも出来る限りお手伝いさせて頂きたいと考えている事を、親御さんから所属先に伝えて頂きます。みんなで協力しながら、入園・入学に向けて準備を整えていくことが大切です。

このことは、成人のCVA患者さんと考え方は同じだと思います。CVAの患者さんでも「麻痺があるから自分で移動は出来ません」では終わりません。人的介助、杖、装具、手すり、車椅子etc…で移動方法を獲得させていきます。ご家族に対して介助や支援の方法を具体的に指導していくと思います。身体のサイズは違いますが、本人の能力UPは勿論、支援体制の整理が必要不可欠であることに、大人も子どもも変

わりはないのです。

波乱万丈の新年度

話を戻します。

入園・入学・進級に向けて準備をしていたからと言って、全てが上手くいくという保証はありません。場所が変わり、先生が変わり、お友達が変わり、不安を抱えないはずがないのです。良く知らない場所で、良く知らない人に囲まれることが、どれだけ怖いか（大人の高次機能障害の方と重なります）。

更に注目すべきは、学齢期になって問題が勃発してくることがあるという事です。幼稚園時代は、まだ自由度もあり「活発な子だね」程度で大人が見てきていた子が、学校・授業という『型』に押し込まれたことで、それまで許されていたことが「問題行動」となってしまう。学齢期になって病院初診という子どもさんは、少なくありません。

何とかクラスに慣れてきた頃にゴールデンウィークがあつて生活リズムが崩れ、その状態で運動会の練習が始まります（最近では春の運動会開催がとて増えました）。運動会の練習程過酷なことはありません。暑さの中、同じことが何度も繰り返され終わりが見えない、覚える事も沢山ある、まさにストレスを招く塊以外の何物でもありません。

その運動会が終わると一気に蒸し暑くなってきて、夏本番から夏休みに突入。生活リズムはまたまた崩れることになります。

学校の先生から伺った話では、「一年生は一学期の間、みんなワサワサしているよ」との事です。発達に偏りがある子は勿論、健常児さんにとっても過酷な生活が続くのです。

順調な集団生活が始まって欲しいのは山々ですが、そこは「スムーズにいかなくても仕方ないよな、これだけ大きな変化の中にいるんだから。少しずつ進んで行くしかない」と思っあける事も必要なかもしれません。

ヒントはCVA患者さん？！

ここで、前回の内容と少し重なるかもしれませんが、発達障害の特徴を考えてみたいと思います。

一番大切な点は『発達障害は器質的な脳障害であること』です。多くの研究や実験によって明らかになってきています。この時点で、「CVAと全く異なるもの」ではなくなりま

す。

そんな中、多くの発達障害の子どもさんに共通している事に「両手の協調動作が苦手」という点があります。麻痺があるわけではなく片手の操作性には問題を認めないのに、両手の活動になると何だか下手で、時間がかかる、そういう子どもさんによく出会います。

さて、何故か。

両手の協調活動には、両側の運動協応と「目と手の協応」が求められます。

両側の運動協応は、左右の脳半球が脳梁を介して協調することが必要です。しかし、発達障害の子どもさんは、同年齢の定型児に比較すると、『神経線維の機能的接続や髄鞘化の発達が遅れている』ということが報告されています。

加えて、注目すべきところを注目し続けることが苦手ですから、操作する手元をなかなか持続的に見られない。

結果、うまくいかずに失敗が重なり、取り組みたがらなかったり、自信を無くして次へのステップへ踏み出せなかったりということになります。

もう一点。

物の操作の仕方や扱いは学べているのに、なかなか上達しない場合があります。筆圧が弱かったり強すぎたり、どこかぎこちなかったり。

発達障害の子どもさんは、四肢体幹が低緊張であることが多く見られます。座位姿勢においても骨盤が後傾位を取るため姿勢が崩れてしまったり、ほおづえをついたりすぐに机に寝てしまったりといった、抗重力姿勢保持の苦手さを認めます。

そうすると、上肢操作に必要な姿勢セットが作れないもしくは持続できないという事になっていき、結果として操作そのものに大きな影響を与えてしまうと考えることが出来ると思います。

こういった点が複雑に絡んで、机上の活動のみならず様々な活動でつまづいてしまうことになるのです。

実は私は、上司である当院OTの林克樹もとで、CVAの手の治療に長く関わらせて頂いています。そこで学ばせてもらった「手の治療の考え方」は、子どもさんと関わらせて頂く上でとても大きなヒントになっているのです。

二つの経験は、お互いに活かされる

今回は、子どもさんと所属する環境についてと、子どもさんの現象について簡単ではありますがご紹介させて頂きました。

一見すると全く関連の無い疾患のように見えるかもしれませんが、実際にはCVAと発達障害は同じ脳機能の障害です。そして、効率よく働いてない部分や獲得していくべき部分とにおいて共通点が見られるのも事実です。

OTとして治療を考える時、疾患に関わらず、対象とする患者さんに何が欠けているのかを評価していく事で、取り組んでいくべきことや支援していくべきことが見えてくるのではないかと思います。

手の発達過程は、大人の手の治療にも活かされます。

治療のために、子どもさんに興味を持ってみると新しい発見があるかもしれません。



はじめに

今回の改訂には3つの重点課題があります。1つ目は「医療機関の機能分化・強化と連携」2つ目は「在宅医療の充実」3つ目は「医療と介護の連携」です。これらの3つの重点課題全てにおいてリハビリテーションは大きなウェイトを占めています。超高齢化社会の中での作業療法士の働きは非常に重要な役割を持つと考えております。その役割を果たしていくためにも制度をしっかりと把握していただければと思います。

本文には紙面の関係上、改定についてリハビリテーションに関する大まかな内容のみを記載しております。詳細な内容については“厚生労働省ホームページ (<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000032996.html>)”もしくは“医科点数表の解釈”にてご確認いただきたいと思います。また厚生労働省ホームページでは現時点（平成26年7月1日）で疑義解釈が“その7”まで掲載されています。また様式もPDFで入手できますので合わせてご確認いただければと思います。

第7部リハビリテーションに関する項目

＜心大血管疾患リハビリテーション料＞

○作業療法士の職名追記

心大血管疾患リハビリテーションの…必要に応じて、心機能に応じた日常生活活動に関する訓練等の心大血管リハビリテーションに係る経験を有する**作業療法士**が勤務していることが望ましい。

＜認知症患者リハビリテーション料 240点（1日につき）＞

○算定留意事項

- ①重度認知症患者に対して、認知症の行動・心理症状の改善及び認知機能や社会生活機能の回復を目的とする。
- ②作業療法、学習訓練療法、運動療法などを組み合わせて行う。
- ③認知症治療病棟入院料・認知症疾患医療センターに入院の患者
- ④ランクM
- ⑤PT・OT・STが個別に20分以上行った場合に算定

⑥1日18人まで

⑦多職種共同してリハビリテーション計画を策定しリハビリテーション総合実施計画評価料を算定していること

⑧心大血管、脳血管、運動器、呼吸器、障害児（者）、がんリハは別に算定できない。

○施設基準

①当該保険医療機関内に、認知症患者の診療の経験を5年以上有する専任の常勤医師又は認知症リハビリテーションに係る研修を終了した専任の常勤医師が1名以上配置されていること。

②当該保険医療機関内に、専従の理学療法士、作業療法士又は言語聴覚士が1名以上勤務していること。

③治療・訓練を十分実施し得る専用の機能訓練室を有していること。

④必要な専用の器械・器具を対象患者の状態と当該療法の目的に応じて具備すること。

⑤認知症疾患医療センターとは、「認知症対策総合支援事業の実施について」（平成25年7月4日老発0704第1号老健局長通知）における、基幹型センター及び地域型センターとして、都道府県知事又は指定都市市長が指定した保険医療機関であること。

＜外来患者の加算について＞

○外来患者（大腿骨頸部骨折もしくは脳卒中の患者であって、当該保険医療機関を退院したもの又は他の保険医療機関を退院したもの（地域連携診療計画評価料または地域連携診療計画退院時指導料を算定したものに限る）に限り）に対して早期リハビリテーション加算（30点）を所定点数に加算する。

○外来患者（大腿骨頸部骨折もしくは脳卒中の患者であって、当該保険医療機関を退院したもの又は他の保険医療機関を退院したもの（地域連携診療計画管理料又は地域連携診療計画退院時指導料を算定した患者に

限る。)に限る。)に対してリハビリテーションを行った場合は、それぞれ発症、手術又は急性増悪から14日に限り、初期加算として、1単位につき45点を更に所定点数に加算する。

- 入院中の患者以外の患者（脳卒中の患者であって他の保険医療機関を退院したもの）が「注2」又は「注3」に掲げる加算を算定する場合にあつては、地域連携診療計画管理料又地域連携診療計画退院時指導料（Ⅰ）の算定患者である旨を、診療報酬明細書の摘要欄に記載する。

＜運動器リハビリテーションについて＞

- 運動器リハビリテーションにおいて注2の削除運動器リハビリテーション施設基準において外来患者および運動器不安定症など運動器リハビリテーション料（2）で算定していたが今回の削除により運動器リハビリテーション料（1）で算定する。

＜廃用症候群について＞

- 1 脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）（1単位）
ロ 廃用症候群の場合 180点
- 2 脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅱ）（1単位）
ロ 廃用症候群の場合 146点
- 3 脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅲ）（1単位）
ロ 廃用症候群の場合 77点注

○脳血管疾患等リハビリテーション料のロに掲げる「廃用症候群の場合」の対象となる患者は、外科手術又は肺炎等の治療時の安静による廃用症候群の患者であつて、治療開始時において、FIM115以下、BI85以下の状態等のものをいう。ただし、区分番号「H000」心大血管疾患リハビリテーション料、区分番号「H002」運動器リハビリテーション料、区分番号「H003」呼吸器リハビリテーション料、区分番号「H007」障害児（者）リハビリテーション料又は区分番号「H007-2」がん患者リハビリテーション料の対象となる患者を除く。

○廃用症候群に該当するものとして脳血管疾患等リハビリテーション料を算定する場合は、廃用をもたらすに至った要因、臥床・活動性低下の期間、廃用の内容、介入による改善の可能性、改善に要する見込み期間、前回の評価からの改善や変化、廃用に陥る前のADLについて別紙様式22を用いて、月ごとに評価し、診療報酬明細書に添付する又は同様の情報を摘要欄に記載するとともに、その写しを診療録に添付すること。

＜リハビリテーション総合計画提供料100点＞

- 退院時に区分番号B005-2に掲げる地域連携診

療計画管理料又は区分番号B005-3に掲げる地域連携診療計画退院時指導料を算定した患者（入院中に区分番号H003-2に掲げるリハビリテーション総合計画評価料を算定した場合に限る。）について、患者の同意を得た上で退院後のリハビリテーションを担う他の保険医療機関にリハビリテーション計画を文書により提供し、発症、手術又は急性増悪から14日以内に退院した場合に限り、退院時に1回を限度として算定する。

＜入院時訪問指導加算150点＞

- 当該保険医療機関の保険医、看護師等が、患家等を訪問し、当該患者（区分番号A308に掲げる回復期リハビリテーション病棟入院料を算定する患者に限る。）の退院後の住環境等を評価した上で、当該計画を策定した場合に、（新設）入院時訪問指導加算として、入院中1回に限り、150点を所定点数に加算する。

回復期リハビリテーション病棟評価の見直し

＜回復期リハビリテーション病棟入院料＞

回復期リハビリテーション病棟入院料
12,025点（生活療養2,011点）
回復期リハビリテーション病棟入院料
21,811点（生活療養1,796点）
回復期リハビリテーション病棟入院料
31,657点（生活療養1,642点）

＜回復期リハビリテーション病棟入院料1の病棟について＞

- 回復期リハビリテーション病棟入院料1
体制強化加算 200点（1日につき）
回復期リハビリテーション病棟入院料 1
を算定する病棟において、専従医師及び専従社会福祉士を配置した場合の評価を新設する。
- 休日リハビリテーション提供体制加算包括
回復期リハビリテーション病棟入院料1
の休日リハビリテーション提供体制加算
を算定要件として包括して評価する。
- 重症度・看護必要度の項目等の見直し
（回復期入院料 1）
A項目の得点が1点以上の患者の割合が1割以上

維持期リハビリテーションの評価

○要介護被保険者等について、標準的算定日数を超えており、状態の改善が期待できると医学的に判断されない場合の脳血管疾患等リハビリテーション及び運動器リハビリテーションの評価を見直す。

⇒過去1年間に介護保険における通所リハビリテーション又は介護予防通所リハビリテーションを実施した実績のない医療機関が、入院中の患者以外の者に対して実施する場合は、所定点数の100分の90に相当する点数により算定する。

○要介護被保険者等に対する維持期の脳血管疾患等、運動器リハビリテーションについては、原則として平成25年度までとされているが、この経過措置を平成27年度までに限り延長する。
(入院中以外の患者のみ)

○介護保険リハビリテーション移行支援料 500点
入院患者以外の要介護被保険者等について、医療保険における維持期のリハビリテーションから介護保険のリハビリテーションに移行した場合に算定する。

急性期病棟におけるリハビリテーション専門職の配置に対する評価

○ADL維持向上等体制加算 25点 (1日につき、14日を限度)

一般病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料(一般病棟)または専門病院入院基本料の7対1病棟、10対1病棟について、理学療法士、作業療法士又は言語聴覚士を配置した場合の加算

入院中の患者の日常生活機能の維持、向上等を目的として、リハビリテーション専門職等が当該病棟において以下のアからカに掲げる取組みを行った場合に、患者1人につき入院した日から起算して14日を限度に算定できる。ただし、当該加算の対象となる患者であっても、当該患者に対して心大血管疾患リハビリテーション料、脳血管疾患等リハビリテーション料、運動器リハビリテーション料、呼吸器リハビリテーション料、摂食機能療法、視能訓練、障害児(者)リハビリテーション料、がん患者リハビリテーション料、認知症患者リハビリテーション料及び集団コミュニケーション療法料を算定した場合は、当該療法を開始した日から当該加算を算定することはできない。

ア 入院患者に対する定期的なADLの評価は、別紙様式7の2又はこれに準ずる様式を用いて

行っていること。

イ 入院患者に対するADLの維持、向上等を目的とした指導を行っていること。

ウ 必要最小限の抑制とした上で、転倒転落を防止する対策を行っていること。

エ 必要に応じて患者の家族に対して、患者の状況を情報提供していること。

オ 入院患者のADLの維持、向上等に係るカンファレンスが定期的開催されており、医師、看護師及び必要に応じてその他の職種が参加していること。

カ 指導内容等について、診療録に記載すること。

地域包括ケア病棟入院料及び地域包括ケア入院医療管理料の施設基準

○(3)・・・。また、当該病棟又は病室を含む病棟に、専従の常勤理学療法士、専従の常勤作業療法士又は専従の言語聴覚士(以下「理学療法士等」という。)が1名以上配置されていること。なお、当該理学療法士等は、疾患別リハビリテーション等を担当する専従者との兼務はできないものであり、当該理学療法士等が提供した疾患別リハビリテーション等については疾患別リハビリテーション料等を算定することはできない。ただし、地域包括ケア入院医療管理料を算定する場合に限り、当該理学療法士等は、当該病室を有する病棟におけるADL維持向上等体制加算に係る専従者と兼務することはできる。なお、注2の届出を行う場合にあっては、専任の常勤理学療法士、専任の常勤作業療法士又は専任の言語聴覚士が1名以上配置されていること。

(4) 心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)、脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)、(Ⅱ)若しくは(Ⅲ)、運動器リハビリテーション料(Ⅰ)若しくは(Ⅱ)、呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)又はがん患者リハビリテーション料の届出を行っていること。

(5) (3)のリハビリテーションを提供する患者については、1日平均2単位以上提供していること。ただし、1患者が1日に算入できる単位数は9単位までとする。なお、当該リハビリテーションは地域包括ケア病棟入院料に包括されており、費用

を別に算定することはできないため、当該病棟又は病室を含む病棟に専従の理学療法士等が提供しても差し支えない。また、当該入院料を算定する患者に提供したリハビリテーションは、疾患別リハビリテーションに規定する従事者1人あたりの実施単位数に含むものとする。

おわりに

平成26年度の診療報酬改定から4カ月が過ぎました。会員の皆様におかれましては、改定の混乱からようやく落ち着いてきたところではないでしょうか。しかしながら今回の改訂は我々作業療法士に超高齢化社会に向けて大きな転換を求める改定であると私は考えています。

保険委員会ではこれからの動向に注視し適切な情報を会員の皆様に提供できるよう頑張っていきたいと考えています。また同時に会員の皆様からの情報もいただければと考えております。何か質問やご意見がありましたら下記までご連絡をお願いいたします。

福岡県作業療法協会 メールアドレス fuku-ota@fancy.ocn.ne.jp



あい愛訪問看護ステーション 訪問リハビリスタッフ募集！！

【募集職種】 作業療法士・理学療法士
【募集人員】 1名
【雇用形態】 常勤
【給 与】 220,000円～250,000円
【賞 与】 年2回
【勤務時間】 8:30～17:30
【休 日】 土日祝, 8/13～15, 12/30～1/3
【福利厚生】 社会保険完備, 退職金制度有
【その他】 交通費, 住宅手当(規定有)
 制服貸与, 車通勤可
【備 考】 試用期間3か月(労働条件同)
【連絡先】 〒813-0042 福岡市東区舞松原1丁目8-19
 TEL(092)663-5665/FAX(092)663-5664
 あい愛訪問看護ステーション
 担当: 清水

医療法人若愛会 介護老人保健施設けやき

【募集職種】 作業療法士(PT可)
【募集人数】 1名
【雇用形態】 正規職員
【給 与】 204,200円～285,000円
【賞 与】 年2回4.0ヶ月(前年度実績)
【勤務時間】 8:45～17:30(休憩1時間)
【休 日】 4週8休
【福利厚生】 雇用 労災 健康 退職金制度あり
 (勤続3年以上)
【その他】 交通費あり
【備 考】
 勤務地:
 介護老人保健施設けやき 入所55床 短期入所1床
 通所リハビリテーションけやき 定員50名
 関連施設:
 特別養護老人ホーム グループホーム
 デイサービスセンター3カ所
 通所リハビリテーション
 居宅介護支援事業所 ヘルパーステーション
 応募方法: まずはご連絡下さい
【連絡先】 〒808-0043 北九州市若松区西畑町9番72号
 TEL093-751-1888 FAX093-751-8881
 担当者名: 管理部長 平山 直人

新小倉病院

【募集職種】 作業療法士・理学療法士
【募集人員】 1名
【雇用形態】 パート職員
【給 与】 時給 1,440円
【賞 与】 なし
【勤務時間】 8:30～17:00(相談可)
【休 日】 土・日・祝祭日
【福利厚生】 社会保険・厚生年金・雇用保険・労災保険
【その他】 規定による交通費支給
【備 考】 病棟におけるリハビリ業務
 雇用期間: 平成27年3月31日
 期間の延長相談
【連絡先】
 国家公務員共済組合連合会 新小倉病院
 〒803-8505 北九州市小倉北区金田1-3-1
 TEL: 093-571-1031
 担当: 庶務課 杉野

松恒園通所リハビリテーション

【募集職種】 理学療法士 作業療法士
【募集人員】 2名
【雇用形態】 パート職員
【給 与】 時給 1,000円(週3日以上)
【賞 与】 なし
【勤務時間】 10:00～15:45(45分休憩 5時間勤務)
【休 日】 日・祝日・年末年始
【福利厚生】 なし
【その他】 規定による交通費支給
【備 考】 通所リハビリにおけるリハビリ業務
【連絡先】
 介護老人保健施設 松恒園 担当: 北村直樹
 〒800-0114 北九州市門司区吉志5-5-10
 TEL: 093-481-6548

平成26年度 第1回 公益社団法人福岡県作業療法協会 理事会議事録

- I. 日 時 : 平成26年5月12日 (月) 19時00分～22時30分
- II. 場 所 : 株式会社らそうむ 良創夢リハビリスポーツガーデン
- III. 理事総数 : 20名
- IV. 出席理事数 : 17名
- V. 出席者氏名 : 志井田太一, 竹中祐二, 座小田孝安, 中川昇, 白山義洋, 深町晃次, 田中真純,
福田裕樹, 轟木健市, 椋学美, 榎本孝史, 濱本孝弘, 佐藤稔, 手島智康,
大田登志樹, 平岡敏幸, 玉野和男 (以上, 理事) .
吉田秀樹, 原口健三 (以上, 監事) .
鐘ヶ江秀俊, 田邊慎一, 藤崎実知子 (以上, 事務局) 有久勝彦, 沖雄二
欠席者氏名 : 菅沼一平, 丹羽敦, 中山仁 (以上, 理事) (敬称略)
- VI. 審議事項
1. 平成26年度代議員及び役員改選の立候補結果について (選挙管理委員会 藤崎氏)
立候補結果について経過と報告があった。 →承認
 2. 社員総会での新役員発足について (志井田代表理事)
立候補結果報告を受け, 社員総会において議案として上程する旨が報告された。 →承認
 3. 平成25年度事業報告・収支決算書について (中川理事, 事務局鐘ヶ江氏)
監事より適正に執行されているとの監査報告とともに, 吉田秀樹監事からは事業予算の執行率への留意点, 原口健三監事からは公益目的事業の事業報告の記載方法などについて助言があった。 →承認
 4. 特別支援教育に対応する作業療法士ミーティングの開催およびアンケートの配布について (濱本保健福祉部担当理事)
特別支援教育へのOTの関わり方を検討していくための取り組みのひとつとして, ミーティングの開催とアンケート調査の配布について提案があり審議した。現状把握やアンケート内容の検討などを行っていく。 →継続検討
 5. ハートメディア2014講師について (榎本事業部担当理事)
以下の講師依頼について報告。 →承認
斉藤昌彦氏 (東京都松沢病院院長)
 6. 認知症初期集中支援チームに対する作業療法士のための研修会講師について (濱本保健福祉部担当理事)
以下の講師依頼について報告。 →承認
山口智晴氏 (日本作業療法士協会認知症初期集中支援チーム対応プロジェクト特設委員 : 群馬医療福祉大学 准教授)
青山克実氏 (福岡県作業療法協会保健福祉部認知症初期集中支援対応委員 : 専門学校麻生リハビリテーション大学校 作業療法学科)
吉田みのり氏 (福岡県作業療法協会保健福祉部認知症初期集中支援対応委員 : 介護老人保健施設リカバリーセンターひびき)
濱本孝弘氏 (福岡県作業療法協会保健福祉部理事)

7. 筑後ブロック分野別研修会講師について（轟木筑後ブロック担当理事）

以下の講師依頼について報告.

→承認

武田実氏（川崎病院 作業療法士）身障分野

上城憲司氏（西九州大学リハビリテーション学部 作業療法学専攻）老年期分野

福田久徳氏（小倉リハビリテーション病院）精神障害分野

中村信也氏（久留米大学 看護師）発達障害分野

8. 筑後ブロック全体研修会講師について（轟木筑後ブロック担当理事）

講師について提案があり審議した. テーマ・内容等を詳細検討していく.

→継続検討

9. 福岡ブロック研修会講師について（棕福岡ブロック担当理事）

以下の講師依頼について報告.

→承認

内藤紘介氏（桜十字福岡病院 理学療法士）リスク管理

仲間知穂氏（琉球リハビリテーション学院作業療学科専任教員）

発達障害児の地域支援

竹林崇氏（兵庫医科大学病院リハビリテーション部 副主任技師）C I 療法

黒田隆之氏（アイエック訪問看護ステーション 作業療法士）県民健康づくりセミナー

10. 筑豊ブロック研修会講師について（平岡筑豊ブロック担当理事）

以下の講師依頼について報告.

→承認

中島純二氏（今宿病院 作業療法士）

11. 北九州ブロック研修会講師について（玉野北九州ブロック担当理事）

以下の講師依頼について報告.

→承認

佐藤房枝氏（戸畑協立病院 臨床検査技師）血液データーの診かた

葉山靖明氏（ケアプラネット）作業療法士に期待すること

12. 会員の入会について（中川理事）

平成26年4月1日から平成26年4月30日までの間に31名の入会があった.

→承認

13. 社員総会の開催について（中川理事）

以下のように提案があった.

→承認

日時 平成26年6月1日（日） 10：00～11：30

会場 株式会社らそうむ 良創夢リハビリスポーツガーデン

議案 平成25年度事業報告, 平成25年度収支決算報告, 役員選任（平成26年度改選）

VII. 協議事項

1. 第19回福岡県作業療法学会について（棕福岡ブロック担当理事）

日程・会場・テーマ・講師等の計画案の報告があり協議した. 講演スケジュール等を検討. →継続検討

2. 「福岡県の地域ケア会議アドバイザー派遣要請」への対応について（志井田代表理事）

地域包括ケア会議へ積極的に会員を派遣していくために, 情報収集や養成のための取り組みが必要であるとの提案があった. 協議の結果, 積極的に会員派遣ができるよう, 具体的な対応方法等継続検討していくこととなった.

→継続検討

3. 九州作業療法士会会長主催「地域ケア会議」研修会への対応について（志井田代表理事）

地域ケア会議アドバイザー養成の取り組みのひとつとして, 平成26年6月29日に, 九州作業療法士会会長主催で研修会を開催し, 運営は福岡県作業療法協会が担当することなどにつ

いて提案があった。

→承認

4. 個人情報使用の同意書 使用について（棕福岡ブロック担当理事）

webサイトや広報誌などの広報媒体における個人情報の取扱いについて同意書の様式案が提案され協議した。県協会全体で利用できる様式を作成することについては承認。内容の詳細については、司法書士などの専門家に意見を求める。
→継続検討

5. 会員の福利厚生事業について（深町福利部担当理事）

会員に向けての新たな福利厚生事業の提案があり協議した。利用手続きにおける県協会事務所の作業負担などについて検討する。
→継続検討

VIII. 報告事項

1. 代表理事行動について（志井田代表理事）

平成26年2月から4月の代表理事行動について報告。

2. 県協会宛て依頼案件について（志井田代表理事）

平成26年4月1日から5月1日までの間に県協会宛てに19件の依頼（研修会案内依頼9件，講師・委員派遣依頼7件，共催・後援依頼3件）があった。

3. 一般社団法人 日本作業療法士協会定時社員総会の開催について（志井田代表理事）

一般社団法人 日本作業療法士協会定時社員総会が平成26年5月31日（土）に開催される。

4. WFOT広報ブース出展について（志井田代表理事）

WFOTブースにて九州ブロックで広報活動の出展を行う。県協会からは、広報部から菅沼一平理事，森園亮氏の2名が参加の予定。

5. ホームページのリニューアルについて（志井田代表理事）

県協会ホームページを平成26年4月2日にリニューアルし，5月8日からはスマートフォン版も公開される。

IX. 次回開催日

平成26年度 第2回理事会

日時： 平成26年6月1日（日）11：30～

場所： 株式会社らそうむ 良創夢リハビリスポーツガーデン

平成26年度 公益社団法人福岡県作業療法協会 臨時 理事会議事録

- I. 開催日 : 平成26年4月1日(火) 19時00分～20時00分
II. 場所 : 株式会社 シダー
III. 理事総数 : 20名
IV. 出席理事数 : 13名
V. 出席者氏名 : 志井田太一, 竹中祐二, 座小田孝安, 中川昇, 白山義洋, 深町晃次, 菅沼一平, 濱本孝弘, 佐藤稔, 手島智康, 大田登志樹, 平岡敏幸, 玉野和男(以上, 理事). 吉田秀樹(以上, 監事). 鐘ヶ江秀俊, 藤崎実知子(以上, 事務局).
欠席者氏名 : 丹羽敦, 田中真純, 福田裕樹, 轟木健市, 大社学美, 中山仁, 榎本孝史(以上, 理事) 原口健三(以上, 監事) 田邊慎一(以上, 事務局) (敬称略)

VI. 審議事項

1. 主たる事務所の移転について(志井田代表理事)

平成26年5月1日付けで下記住所に移転することの提案があった.

〒802-0044 北九州市小倉北区熊本一丁目9番1号 ONE OFF 第2ビル101

→承認

2. 会員の入会について(中川理事)

平成26年2月1日から平成26年3月31日までの間に4名の入会があった. →承認

3. 平成26年度代議員及び役員改選について(選挙管理委員会 藤崎氏)

平成26年度代議員及び役員改選について, データ確定日を平成26年4月1日とし, 選挙人・被選挙人の資格と代議員の選挙区を確定することの提案があった. また, データ確定日現在の正会員数とブロック毎の会員数から選挙にあたっての定数について提案があった.

→承認

VII. 報告事項

1. 事務所の移転時期について(志井田代表理事)

平成26年5月1日に入居予定で準備をすすめている. 会員に対しても随時お知らせしていく.

2. 「福岡市に障がい者差別禁止条例をつくる集い」の開催について(竹中業務執行理事)

「福岡市に障がい者差別禁止条例をつくる集い」が平成26年4月16日に開催される.

3. 診療報酬改定に関する研修会の開催について(座小田業務執行理事)

各ブロックで開催し, 準備は保険対策委員会と各ブロック運営委員会合同ですすめていく.

VIII. 次回開催日

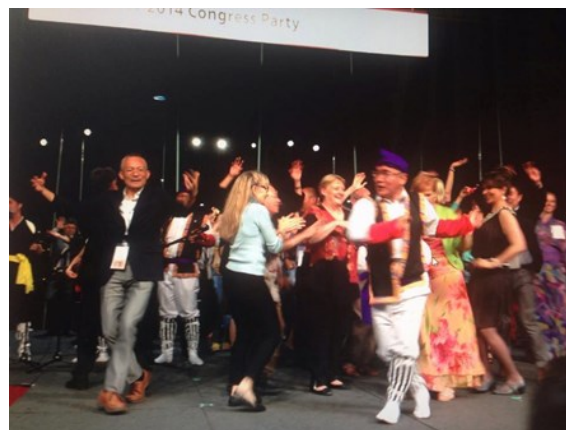
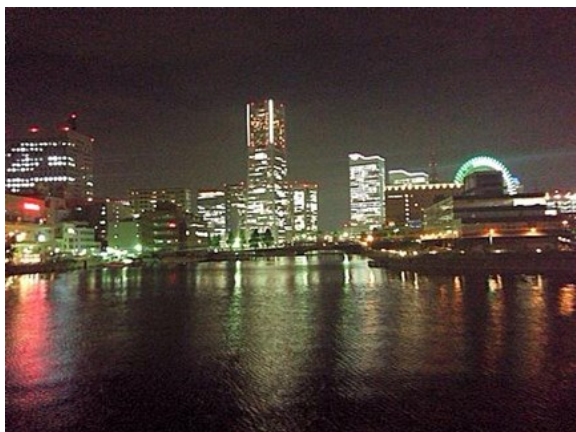
平成26年度 第1回理事会

日時 : 平成26年5月12日(月) 19:00～

場所 : 株式会社らそうむ 良創夢リハビリスポーツガーデン

WFOT開催！！

6月18日～6月21日、第16回世界作業療法士連盟大会・第48回日本作業療法学会（World Federation of Occupational Therapists : **WFOT**）が開催されました。シンポジウム，基調講演，一般発表，市民公開講座，コンGRESパーティーetc・・・さすが国際学会！スケールが桁違いでした。我が福岡県作業療法協会からもブースに広報物を展示し，活動内容をアピールしています！！ほんの一部ですが，WFOTの様子を掲載します。





【筑豊ブロック】

I. 事業企画会議

第1回 筑豊ブロック事業企画会議

日 時： 平成26年4月8日（火）19:00～20:30

会 場： 飯塚記念病院 多目的ホール

参加者： 11名

内 容： 平成25年度筑豊ブロック事業報告，平成26年度研修会について

第2回 筑豊ブロック事業企画会議

日 時： 平成26年6月9日（月）19:00～20:30

会 場： 飯塚記念病院 多目的ホール

参加者： 12名

内 容： 第1回筑豊ブロック研修会開催報告
新人研修会・歓迎会開催報告
第2回筑豊ブロック研修会開催報告，他

II. 研修会

第1回 筑豊ブロック研修会

日 時： 平成26年4月16日水曜日

会 場： 飯塚記念病院 多目的ホール

テーマ： 平成26年度診療報酬改定説明会

講 師： 座小田孝安副会長（株式会社シダー），福田裕樹理事（八女リハビリ病院）

参加者： 61名（含 PT 2名，ST 2名）

新人研修会・歓迎会

新人研修会

日 時： 平成26年5月24日土曜日17:00～

会 場： イイヅカコミュニティセンター学習室303

テーマ： 福岡県作業療法協会筑豊ブロックについて

講 師： 平岡敏幸（飯塚記念病院，筑豊担当理事）

参加者： 12名

新人歓迎会

日 時： 平成26年5月24日土曜日19:00～

会 場： 炭火居酒屋 せいきん

参加者： 29名

第2回 筑豊ブロック研修会

テーマ： うつ病について～最新の分類を交えて～

日 時： 平成26年6月6日（金）19:00～21:00

会 場： 飯塚記念病院多目的ホール

講 師： 中島純二先生（今宿病院 作業療法士）

参加者： 41名

III. 広報誌

筑豊OT TIMES 第8号 平成26年4月30日発行

以上

【北九州ブロック】

ブロック企画会議開催

平成26年5月19日（月） 19:00～ 曽根東市民センター 大会議室

第1回北九州ブロック全体研修会

日 時：平成26年4月23日（水） 19:00～21:00

会 場：九州栄養福祉大学 小倉南区キャンパス

テーマ：「平成26年度診療報酬改定について」

講 師：座小田 孝安氏（シダー）・福田 裕樹氏（八女リハビリ病院）

参加者：60名

＜小倉北・門司エリア＞

エリア事業企画会議開催

平成26年5月13日（火）19:00～ 大手町病院

＜小倉南・京築エリア＞

エリア事業企画会議開催

平成26年4月8日（火）19:00～ 曽根東市民センター

＜八幡西・遠賀・中間エリア＞

エリア事業企画会議開催

平成26年5月7日（水） 19:00～ 製鉄記念八幡病院

第1回北九州ブロック研修会開催

日 時：平成26年5月20日（火）19:00～

会 場：九州栄養福祉大学 小倉南区キャンパス

テーマ：「社会人としてのコミュニケーションスキル

～先輩・上司・他職種との良い関係を目指して～」

講 師：深町 晃次氏（九州栄養福祉大学）

参加者：名

＜戸畑・若松・八幡東エリア＞

エリア事業企画会議開催

平成26年5月7日（水）19:00～ 製鉄記念八幡病院

【筑後ブロック】

1. 協議事項

- 1) 学術・教育統括者を選出：岩佐親宏

2. 報告事項

1) 活動報告

- (1) 理事会報告について

①臨時理事会開催

- ・定款変更のため

- (2) 診療報酬改定研修会について

①保健委員会主催にて各ブロックにて開催

- ・日時：平成26年4月28日（月）19:00～
- ・会場：久留米リハビリテーション学院
- ・講師：座小田孝安，福田裕樹＜敬称略＞
- ・参加者：57名（A地区：13名，B地区：38名，C地区：1名，D地区：5名）

- (3) 筑後ブロック事業企画会議（全体）

①日時：平成26年4月21日（月）

②場所：高良台リハビリテーション病院

③出席者：26名

A地区

1. その他

- 1) A地区運営部員について

- (1) 地区長：江口智則（高良台リハビリテーション病院）
- (2) 学術：古賀英教（ゆうかり学園）
- (3) 会計：堀田和也（高良台リハビリテーション病院）
- (4) 企画：國崎啓介（聖マリア病院リハビリテーションセンター）

B地区

1. 報告事項

1) 活動報告

(1) B地区事業企画会議

- ①日時 : 平成26年4月10日 (木)
- ②場所 : 介護老人保健施設のぞみ船小屋
- ③出席者 : 中原徳郎, 大村洋介, 山下和希, 布川未来, 木村有希
- ④内容 : 年間スケジュール検討, 研修会テーマについて

2) 活動予定

(1) 平成26年度B地区事業活動について

- ①地区の企画会議を4, 6, 8, 9, 11, 3月の計6回実施
- ②地区研修会 : 10月予定
- ③地区交流会 : 11月予定
- ④事例検討会 : 1月予定

(2) 第2回B地区事業企画会議 : 6月開催予定

2. その他

- (1) 運営委員補充予定 : 現在5名で活動中。1名欠員分を今年度補充予定。

C地区

1. 報告事項

1) 活動報告

(1) C地区事業企画会議

- 日時 : 平成26年3月3日 (月)
- 場所 : 介護老人保健施設 はなぞの
- 出席者 : 澤田剛, 川田隆志, 上村佳代, 末藤優介, 荻島秀顕
- 内容 : 代表者会議内容伝達, 平成26年度C地区研修会について

2) 活動予定

(1) C地区事業企画会議

- ①日時 : 平成26年5月12日 (月)
- ②場所 : 介護老人保健施設 はなぞの

2. その他

1) 運営委員について

- ①継続者 : 澤田剛, 森健一朗, 川田隆士, 末藤優介, 荻島秀顕, 箕輪佳代 (旧姓 上村)
- ②C地区学術担当 : 荻島秀顕
- ③筑後ブロック学術部責任者就任 : 箕輪佳代 (兼務でC地区運営委員継続)

D地区

1. 報告事項

1) 活動報告

(1) D地区事業企画会議

- ①日時 : 平成26年3月10日
- ②場所 : 甘木中央病院
- ③出席者 : 古賀, 田中, 出利葉, 藤田, 香田
- ④内容 : 代表者会議報告, 次年度計画について

2) 活動予定

(1) 地区交流会について

- ①日時 : 平成26年5月24日 (土) 予定
- ②場所 : キリンビアファーム予定

(2) D地区事業企画会議 : 平成26年5月12日 (月)

学術

1. 協議事項

- 1) 現職者共通研修 事例検討報告会について
 - (1) 各地区の日程検討
 - ①平成26年10月（A地区），11月（D地区），
平成27年 1月（B地区），2月（C地区）
 - (2) 検討事項：開催予定場所
 - ①A地区：未定
 - ②B地区：久留米リハビリテーション学院
 - ③C地区：帝京大学
 - ④D地区：甘木中央病院

教育

1. 報告事項

- 1) 活動予定
 - ①教育事業企画会議：9月予定
 - ②第1回分野別研修会
 - ・日時：平成26年7月13日（日） 9:30受付 10:00開始 （講義・質疑） 12:00終了
 - ・場所：未定
 - 身体障害部門
 - ・テーマ：整形外科分野の作業療法
 - ・講師：武田 実 先生（川崎病院 作業療法士）
 - 老年期障害部門
 - ・テーマ：認知症の作業療法
 - ・講師：上城 憲司 先生（西九州大学リハビリテーション学部作業療法学専攻）
 - 精神障害部門
 - ・テーマ：AMP Sの基礎と実践
 - ・講師：福田 久徳 先生（小倉リハビリテーション病院）
 - 発達障害部門
 - ・テーマ：重症心身障害児者の呼吸ケア
 - ・講師：中村 信也 先生（久留米大学 看護師）
 - ③第2回分野別研修会計画：平成26年12月7日（日）予定

2. その他

- 1) 教育運営部員
 - ①教育部責任者：長彰純（専門学校 久留米リハビリテーション学院）
 - ②身体障害部門：木村伸一郎（いきいき久富デイサービスセンター）
 - ③老年期障害部門：弥永浩一郎（介護老人保健施設ふれあいの里道海）
 - ④精神障害部門：長彰純（次期担当者を検討中）
 - ⑤発達障害部門：中満篤子（次期担当者を検討中）

会計

1. 報告事項

- 1) 活動報告
 - (1) 運営部員交代：木村真弓⇒村田宜啓（柳川リハビリテーション病院デイケアセンター）
 - ①筑後ブロック会計の連絡用メールアドレスが変更。
 - ②会計の郵便宛先の変更。
 - (2) H26年度の予算案について

広報

1. 協議事項

- 1) 筑後ブロック運営部員写真掲載許可求める

2. 報告事項

1) 活動予定

筑後ブロックでの活動や運営スタッフの映像をFacebookにアップしていく。

選挙・研修

1. 協議事項

1) 日本作業療法士協会が推奨する重点課題研修について

①生活行為向上マネジメント、認知症初期集中支援の研修会運営の調整や活動を実施

2. 報告事項

1) 活動報告

①代議員の開票5月14日

②役員選挙があれば開票6月1日

事務

1. 協議事項

1) 書式の統一化への協力依頼

2) 平成26年8月から印刷方法変更について

3) 理事会の1週間前に審議事項、協議事項がある際は理事へ統一書式にて報告する。

2. 報告事項

1) 活動報告

(1) 平成25年度報告、ポイントシール配布、委嘱状配布、筑後ブロック運営部員名簿

(2) 運営部員交代：永田敬生⇒原口正邦（久留米大学病院）

2) 活動予定

(1) 事務局総務引き継ぎ実施

(2) 筑後ブロック親睦会

①日時：平成26年6月27日（金）19:30～（受付19:00）

②場所：アルティノ（昨年度同会場）

③会費：3500円

④役割：司会進行－B・C地区、受付会計－事務局

3. その他

1) 次回会議予定（筑後ブロック事業企画会議代表者）

(1) 日時：平成26年6月16日（月）19:30～

(2) 場所：高良台リハビリテーション病院

【教育部】

1. 主催研修会開催予定（日程・会場）

1) 分野別研修会

精神分野研修会：H26. 7. 19（土） アシスト21

発達分野研修会：H27. 1. 18（日） 麻生リハビリテーション大学校

身障分野研修会：調整中

地域分野研修会：調整中

2) 生涯教育制度関連研修会

① 現職者共通研修：第1回：H26. 11. 8（土） 小倉リハビリテーション学院

② 第2回：H27. 2. 14（土） 福岡アクロス（福岡県OT学会と共催）

③ 現職者選択研修：老年期分野：H26. 10. 19（日） 麻生リハビリテーション大学校

2. 関連教育研修会予定：本部協会主催 福岡県開催

1) 専門作業療法士研修会：福祉用具【基礎Ⅰ】H26. 10. 4（土），5（日）

麻生リハビリテーション大学校

2) 専門作業療法士研修会：高次脳機能障害【基礎Ⅱ】H26. 12. 13（土），14（日）

麻生リハビリテーション大学校

北九州市立医療センター

【募集職種】作業療法士，理学療法士

【募集人員】若干名

【雇用形態】嘱託員

【給 与】月額9,380円

【賞 与】年2回

【勤務時間】8:30～17:00(うち1時間休憩)

【休 日】土日祝，年末年始

【福利厚生】厚生年金，健康保険，雇用保険加入

【その他】交通費(900円/日限度)，制服貸与

【備 考】委嘱期間 随時～平成27年3月31日

なお，委嘱の当該年度当初において65歳に達しない者であって，かつ，特に勤務状況の良好なものについては，次年度も委嘱されることがあります。(ただし，最大限5年まで)

【連絡先】

〒802-0077福岡県北九州市小倉北区馬借2-1-1

北九州市立医療センター事務局管理課 金城

Tel:093-541-1831 Fax:093-533-8693

病院名 福岡市医師会

訪問看護ステーション

【募集職種】作業療法士・理学療法士

【募集人員】若干名

【雇用形態】①常勤臨時 ②非常勤

【給 与】

①時給1,200円+出勤料500円～1,000円/回
+旅費650円/回

②出勤料2,510円～3,560円/回+旅費650円/回

【賞 与】なし

【勤務時間】平日9:00～17:00 土曜(隔週)9:00～13:00

【休 日】日曜・祝日8/14～8/15・12/30～1/3

【福利厚生】各種社会保険完備

【その他】

勤務地：博多区千代4-29-24三原第3ビル6F

中央区大宮1-3-1

早良区南庄2-12-6

【備 考】詳細はお問い合わせ下さい

【連絡先】住所：福岡市早良区百道浜1-6-9

電話：092-852-1512

HP：<http://www.city.fukuoka.med.or.jp/houmon/houmon01.html>

担当者名：万代(まんだい)，林



株式会社リライブ リハデイ吉木 田中 聡

みなさんこんにちは。私は株式会社リライブという会社を立ち上げ、平成26年1月からリハデイ吉木というデイサービスを開業しました。この特徴は「十人十色の利用者さんをスタッフ全員で応援する」です。

地域には“弱る心と体を実感し、不安で自信を無くしてしまっている方”，“かなわない夢とあきらめ、心に蓋をしている方”他にも多くのことを自分一人で抱え込んでいる方々がいらっしゃいます。そういった方々が自分でできることを見つけ、元気な部分を伸ばしていく。そのためには療法士だけの力では不十分なことも多く、十人十色のシチュエーションが必要になります。

ここで一つの例を紹介します。

Aさん（76）は畑仕事が好きで、いつも自宅前の畑に座り込んで畑を耕しています。ご本人の希望は「長く歩くと腰が曲がってきて、重く、痛くなってしまうので何とかしたい」ということでした。利用3日目、評価も兼ねて200mほど離れた畑に行き、一緒に畑仕事をしてみました。地域の農家の方にアドバイスをもらいながら一仕事を終え、帰ってお茶を飲んでいた時のことです。Aさんがぼろっと「10月ぐらいまでは杖を持たんでちゃんと歩けんかな」と言いました。詳しく話を聞くと、ご飯を作って食べさせたりして、親の代わりに育てていた姪っ子さんが10月に結婚するそうです。それを聞いた看護師が泣きそうになりながら急いで私に教えてくれました。

利用者さんの夢が聞けたことはもちろんのこと、正直、私は泣きそうになりながらも嬉しそうにそのことを教えてくれた看護師の顔と声が忘れられません。利用者を想う気持ちは皆同じです。個々のスタッフが利用者の人生に向き合い、力を合わせられることが重要なんだと、心の底から感じた瞬間でした。

最後に、そしてそこにはやっぱり「作業」がありました。作業療法士として、忘れられないすごく幸せな瞬間でした。この幸せな気持ちを共有できる皆さん、いつでも声をかけてください。



社会福祉法人 孝徳会 介護老人保健施設 リカバリーセンターひびき 米倉 裕樹

私の職場は遠賀郡の芦屋にありOT3名、PT8名で入所・通所・訪問リハと様々な分野においてリハビリを提供しています。

私は5月から相談部に移動し、老健の窓口で仕事をするようになりました。それまでは訪問リハビリとして在宅中心のサービスを提供してきました。家族みんなで利用者の生活を考え、支えていくことの大切さと利用者自身も目指したい在宅生活を思い描いて頂きながら、リハビリを提供してきました。

今は利用者様自身、地域でどのように生活していきたいかを思い描いて頂けるようなサポートを目指しています。地域包括ケアシステム構築に向けて動き出している今、私は地域で利用者様をどのように支えていくべきかを考えています。

この業務に携わり地域の方と触れ合うことが多くなりました。地域の方の考えや動き、時には利用者様の昔の武勇伝など、様々な情報が入ってきます。この機会をどのように活かし、利用者様の生活を老健から在宅へ向けていかにコーディネートできるかを問われる仕事でもあると思います。

先日、専門学校時代の友人が東京に行くということで送別会をしました。彼も臨床中心で働いていましたが、ある研究をして臨床における作業療法のレベルを上げていきたいという思いで一度現場から離れる選択をしたようです。彼の考えや姿が現在の自分のこの立場を支えてくれているように思えます。

そう考えていくとOTって様々な分野で、いろいろな立場で活躍しているんだなと改めて感じました。

皆様はOT特有の相談員ってどんな姿だと思いますか？

新たな分野での仕事ということで理想を語りすぎてしまいましたが、OT相談員として必要とされる姿を求めながら、これからも相談業務に励んでいきたいと思っています。



医療法人共和会 小倉リハビリテーション病院 三村 和礼

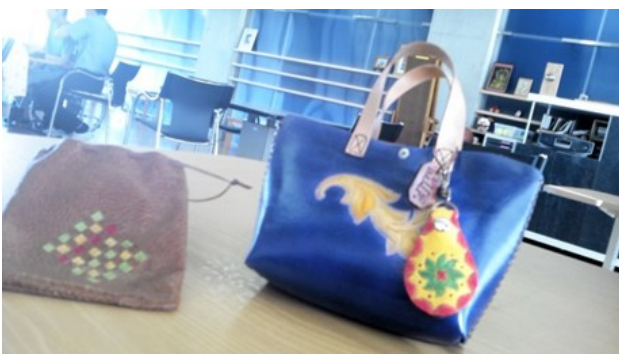
はじめまして。私は北九州市にある医療法人共和会 小倉リハビリテーション病院で作業療法士をしている三村和礼と申します。今回、このような貴重な機会をいただき誠にありがとうございます。

私は作業療法士になり、当法人に勤め始めて今年で早10年目となりました。まず、私の働いている医療法人共和会について簡単に紹介させていただきます。共和会は「小倉リハビリテーション病院」「南小倉地域リハビリテーションセンター」「介護老人保健施設 伸寿苑」の3施設で構成されています。

「人権の尊重」「健康の増進」「生活の創造」という3つの理念を大きな柱として、障害された機能の回復だけではなく、患者様が豊かな生活が送れるようになることを目標としたリハビリテーションを提供しています。私の所属している「小倉リハビリテーション病院」は回復期病棟4病棟（158床）、障害者施設等一般病棟1病棟（40床）を有し、現在44名の作業療法士が勤務しています。病院2階がリハビリテーションのフロアとなっています（左下写真はOT室、患者さんの作った革のバッグ）。リハビリテーションのフロアにはPT室・OT室・ST室とそれらをつなぐルーフガーデンがあります（右下写真）。最近では暖かいので、ルーフガーデンに出てリハビリを行っている方も多くなりました。ルーフガーデンにある花壇やプランターの手入れが密かなマイブームで、患者さんと一緒に花の手入れをしたり、夕方の掃除の時間などにちょこちょこ草取りをしたりしています。

私は作業療法士となってからほとんどの期間を回復期リハビリテーション病棟で働いてきました。回復期リハ病棟では、日々のミーティングやカンファレンスなどを通して多職種連携が盛んに行われ、チームで一丸となって患者の生活を支援しています。脳卒中などの病気により突然障害を抱え、落ち込まれて入院してこられる方も多いですが、リハビリテーションを通して心身ともに元気になっていく姿に私自身も元気をもらっています。先日もそのようなエピソードがありました。5月上旬に恒例のデイケア旅行が行われ、当法人のデイケア利用者約50名が参加し、長崎まで一泊旅行を行いました。私は介助ボランティアとして参加し、2ヵ月前まで入院リハビリを担当していた方に付き添わせてもらうことになりました。退院時には家に帰ってからの生活を非常に心配しており、退院後にあまり外に出なくなる可能性も考えられる方でした。しかし、その旅行で私の不安は吹っ飛びました。夜の宴会では周囲の利用者やスタッフにビールを勧めながらとても楽しそうに過ごされ、自由探索の時間には自ら急な坂道のある道を選んでお土産を買いに行かれていました。その姿は入院中からは想像できないくらい活気に満ち溢れていました。リハビリテーションにおいて、患者さん自身が障害と向き合い一歩ずつ前に進んでいくことが重要だと私は思います。今回の旅行から帰ってきた後に、この方から「これだけ歩けたらバスの日帰りツアーも参加できるかもしれない」という発言が聞かれました。今回一緒に旅行した経験がこの方の自信につながったのだと感じ、とても嬉しくなりました。作業療法士として働く上で、こういった患者さんの心の変化に触れることができるのは、本当に最高の瞬間だと思います。

私は、この職場の上司や同僚・後輩、家族や友人、そして多くの患者さんに支えられながら、これまで作業療法士として頑張ってくることができました。これまでの経験を社会のために少しでも活かせるよう、これからも日々精進していきたいと思っています。



会員動向調査

調査期間 (2014.3.7～2014.6.18)

福岡県作業療法協会 会員数2,524名

(正会員：2,282名 自宅会員：242名)

<入会>

松田 隆治	九州栄養福祉大学	: 2014年4月
杉山 勇樹	北九州安部山公園病院	
		: 2014年5月
榎本 陽一	新栄会病院	: 2014年5月
三船 綾子	遠賀中間医師会 おかがき病院	
		: 2014年5月
宮地 彩奈	堤病院	: 2014年5月
橋本 菜穂	芳野病院	: 2014年5月
古谷 真吾	小嶺江藤病院	: 2014年3月
印具 千津代	小倉記念病院	: 2014年4月
榎木園 麻理	みずほデイサービス	
		: 2014年4月
秋吉 貴子	介護老人保健施設 あやめの里	
		: 2014年4月
江原 浩太	東筑病院	: 2014年4月
岩崎 健司	八幡厚生病院	: 2014年3月
福田 久徳	小倉リハビリテーション病院	
		: 2014年4月
馬場 啓	小倉リハビリテーション病院	
		: 2014年5月
東島 和史	小倉リハビリテーション病院	
		: 2014年5月
小倉 由希	新行橋病院	: 2014年3月
礪部 七菜	新行橋病院	: 2014年4月
品川 暢哉	新行橋病院	: 2014年4月
伊地知 哲弥	新行橋病院	: 2014年4月
下田 麻美	新行橋病院	: 2014年4月
河野 美咲	新行橋病院	: 2014年4月
柴田 惇彦	新行橋病院	: 2014年4月
吉田 未来	新行橋病院	: 2014年4月
清田 健太郎	新行橋病院	: 2014年5月
植田 智美	新行橋病院	: 2014年4月
鳥谷 蒼衣	新行橋病院	: 2014年4月
川崎 美保	自宅	: 2014年4月
土生 琢也	福岡青洲会病院	: 2014年5月
中村 拓人	蜂須賀病院	: 2014年6月
楠居 明菜	三野原病院	: 2014年5月
村田 三紀雅	白十字病院	: 2014年6月
武道 孝政	白十字病院	: 2014年5月
大崎 ひかり	白十字病院	: 2014年6月
朴 順華	香椎丘リハビリテーション病院	
		: 2014年5月
中村 勇貴	原土井病院	: 2014年5月
西ノ村 真代	誠愛リハビリテーション病院	
		: 2014年4月
竹田 麻衣	誠愛リハビリテーション病院	
		: 2014年5月

阿南 啓太	村上華林堂病院	: 2014年5月
眞戸原 新一	福岡徳洲会病院	: 2014年4月
橋本 洋平	乙金病院	: 2014年4月
劉 濤	新吉塚病院	: 2014年4月
橋本 和樹	若久病院	: 2014年3月
瓜生 奈央	桜十字福岡病院	: 2014年4月
永吉 朋子	桜十字福岡病院	: 2014年5月
島尾 千代美	自宅	: 2014年5月
峯浦 早帆	NPO法人 良創夢 発達支援	
	ルーム らいく	: 2014年4月
品川 怜子	健康リハビリテーション内田病院	: 2014年6月
濱田 志穂	健康リハビリテーション内田病院	: 2014年5月
蓑田 亜希子	飯塚嘉穂病院	: 2014年3月
織田 千咲季	ゆうかり学園	: 2014年6月
坂井 和美	大牟田共立病院	: 2014年5月
田中 一将	大牟田共立病院	: 2014年6月
阪本 匠太	聖マリア病院	: 2014年2月
琴野 奈央香	丸山病院	: 2014年5月
原田 美香	介護老人保健施設 柳川やすらぎの里	: 2014年3月
木原 由華	介護老人保健施設 柳川やすらぎの里	: 2014年5月
野田 修司	姫野病院	: 2014年5月
鈴木 俊介	筑水会病院	: 2014年4月
芝原 冬馬	高木病院	: 2014年4月
田代 大祐	高木病院	: 2014年4月
竹部 裕也	川崎病院	: 2014年4月
古家 大作	大刀洗病院	: 2014年3月
原田 安季恵	柳川リハビリテーション病院	
		: 2014年4月
進 保昭	柳川リハビリテーション病院	: 2014年4月

<県内移動>

小林 佳広	新中間病院	: 2013年11月
	(北九州八幡東病院より)	
大川内 幸代	Q-ACT北九州	: 2014年4月
	(堤病院より)	
本間 真琴	小波瀬病院	: 2014年3月
	(老人保健施設 菖蒲より)	
宇山 絵理子	小波瀬病院	: 2013年8月
	(御所病院より)	
岩坂 亜耶	株式会社 楽々サービス	
		: 2014年3月
	(デイサービス高野より)	

財前 篤子	介護老人保健施設 博愛苑	：2014年6月 (自宅より)	野邊 薫	自宅	：2014年3月 (おかがき病院より)
反田 治	特別養護老人ホーム ひまわり 準備室	：2014年3月 (訪問看護ステーション きららより)	音琴 慎一	福岡和白リハビリテーション学 院	：2014年4月 (小倉リハビリテーション学院より)
末吉 さおり	西野病院	：2014年4月 (誠愛リハビリテーション病院より)	峰松 由香	福岡和白病院	：2013年4月 (香椎丘リハビリテーション病院より)
沖 さゆり	大手町病院	：2014年4月 (京町病院より)	真子 はるみ	福岡市立心身障がい福祉セン ター	：2014年4月 (福岡市立西部療育センターより)
南里 英幸	北九州市立門司病院	：2014年4月 (誠愛リハビリテーション病院より)	安川 早苗	福岡市立あゆみ学園	：2014年4月 (福岡市立西部療育センターより)
原田 麗果	相生リハビリテーションクリ ニック	：2014年4月 (香椎丘リハビリテーション病院より)	安野 敦子	福岡市立西部療育センター	：2014年4月 (福岡市立心身障がい福祉センターより)
江崎 暦	佐々木病院	：2014年3月 (八女リハビリ病院より)	竹本 祐樹	身体障がい者支援施設 わかば 苑	：2014年4月 (博愛会病院より)
青木 典子	桜倶楽部	：2014年4月 (自宅より)	吉田 信人	おおりん病院	：2012年9月 (久留米大学病院より)
吉原 直貴	新王子病院	：2014年5月 (デイサービスセンター まいん より)	渋谷 礼子	九州大学病院	：2014年5月 (白十字病院より)
飯田 真也	産業医科大学若松病院	：2014年4月 (産業医科大学病院より)	加瀬 順一	若久病院	：2014年4月 (朝倉記念病院より)
保科 可織	八幡大蔵病院	：2014年4月 (小嶺江藤病院より)	光安 由佳	アップルハート訪問看護ステー ション ひよこ	：2014年4月 (柳川療育センターより)
長岡 美保	あおぞらの里 徳力デイサービ スセンター	：2013年11月 (自宅より)	早川 綾乃	宮近整形外科医院	：2014年5月 (デイサービス やぐらもん より)
山本 達也	戸畑共立病院	：2014年4月 (戸畑リハビリテーション病院より)	岡 美里	乙金病院	：2014年4月 (介護老人保健施設 くすの郷 より)
片山 治子	沼本町病院	：2014年9月 (沼本町病院通所リハビリテーションより)	宮田 康弘	ヘルスケア リンク	：2014年4月 (福岡リハビリテーション病院より)
松丸 裕美	おかがき病院	：2013年10月 (新中間病院より)	高山 和規	就労継続支援A型 ディアスポ ラ	：2014年4月 (自宅より)
池田 知弘	おかがき病院	：2014年3月 (香椎原病院より)	松永 悠	大木整形・リハビリ医院	：2014年4月 (福岡リハビリテーション病院より)
小川 雄基	おかがき病院	：2014年4月 (大平メディカルケア病院より)	小嶺 一寿	株式会社 みやと しながくど う福岡東	：2014年4月 (ゆうかり学園より)
奥 ゆかり	自宅	：2014年4月 (九州栄養福祉大学より)	苗村 俊助	特別養護老人ホーム ディグニ ティ内浜	：2014年1月 (自宅より)
安田 佳美	自宅	：2014年5月 (介護老人保健施設エメロード三萩野より)	桑野 知恵子	今津特別支援学校	：2014年3月 (長尾病院より)
清水 香	自宅	：2014年4月 (桜クリニックより)	重藤 多恵子	老人保健施設 西寿	：2013年8月 (西福岡病院より)
後藤 薫	自宅	：2014年4月 (小倉リハビリテーション病院より)			
井上 祥子	自宅	：2014年4月 (戸畑けんわ病院より)			
松本 尚子	加野病院	：2012年11月 (新栄会病院より)			

高木 雄作 博愛会病院 : 2014年3月
(老健センター ささおか より)

蓑原 梨紗 自宅 : 2013年3月
(訪問看護ステーション はるか より)

長池 彩香 自宅 : 2014年3月
(福岡市立あゆみ学園より)

坂田 希世子 自宅 : 2014年4月
(誠愛リハビリテーション病院より)

加藤 美和子 自宅 : 2014年4月
(誠愛リハビリテーション病院より)

山田 和佳 自宅 : 2014年5月
(新門司病院より)

松本 剛史 りはふるデイサービスセンター : 2014年4月
(小竹町立病院より)

外尾 幸一郎 小竹町立病院 : 2014年4月
(宮田病院より)

新谷 美佳 デイサービスセンター すばる : 2014年1月
(平尾台病院より)

小野山 美千代 自宅 : 2014年3月
(田川新生病院より)

河井 妙子 自宅 : 2014年4月
(嘉麻良創夢デイサービスセンターより)

古賀 哲雄 自宅 : 2014年3月
(介護老人保健施設 勝寿苑より)

吉田 麻美 おおかわ訪問看護ステーション : 2014年5月
(柳川リハビリテーション病院より)

原口 正邦 久留米大学病院 : 2014年4月
(久留米大学医療センターより)

鋤本 千恵子 野伏間クリニック : 2014年2月
(古賀病院より)

一 道伸 介護付有料老人ホーム 健荘さくら : 2013年8月
(川崎病院より)

岸 良至 一般社団法人 わ・Wa・わ : 2014年4月
(こぐま学園より)

大島 美沙 社会福祉法人 筑陽会 ぱっそ : 2014年4月
(こぐま福祉会より)

神野 智行 株式会社 コネクトライフ : 2014年5月
(有明総合ケアセンターより)

柳原 善致 株式会社 コネクトライフ : 2014年5月
(高邦会デイサービスセンターより)

久富 美香 嶋田病院 : 2014年4月
(柳川リハビリテーション病院より)

越智 哲平 聖ルチア病院 : 2014年5月
(甲斐病院より)

萩原 園子 蒲池病院 : 2014年4月
(久留米大学病院より)

古賀 智子 ヨコクラ病院 : 2014年4月
(自宅より)

中島 龍彦 公立八女総合病院 : 2014年4月
(高良台リハビリテーション病院より)

北岡 恭子 柳川リハビリテーション病院 : 2014年1月
(高木病院より)

夜久 加代子 新生会病院 : 2013年4月
(柳川リハビリテーション病院より)

松本 健太郎 柳川リハビリテーション病院 : 2014年4月
(高木病院より)

重藤 旭 高木病院 : 2013年4月
(柳川リハビリテーション病院より)

田尻 昌也 自宅 : 2014年4月
(田主丸中央病院より)

村上 枝里子 自宅 : 2014年4月
(柳川リハビリテーション病院より)

江上 永里子 自宅 : 2014年3月
(香椎原病院より)

服部 綾子 自宅 : 2014年4月
(専門学校 久留米リハビリテーション学院より)

<退会者>

堀川 由紀子 : 2013年5月

藤本 舞 : 2013年5月

平島 由佳 : 2013年8月

彦田 純子 : 2014年1月

山本 恭子 : 2014年1月

三浦 ゆかり : 2014年1月

橋口 麻寿美 : 2014年1月

田中 美穂 : 2014年1月

田川 あき子 : 2014年1月

小川 明子 : 2014年1月

中村 裕美 : 2014年2月

山下 加奈 : 2014年2月

堀田 かおり : 2014年2月

日野 さと子 : 2014年2月

原田 絵理 : 2014年2月

濱崎 育美 : 2014年2月

西村 法子 : 2014年2月

中村 朋子 : 2014年2月

中野 桂子 : 2014年2月

田原 千佳子 : 2014年2月

田中 千代子 : 2014年2月

北村 亜由美 : 2014年2月
 奥村 幸恵 : 2014年2月
 秋吉 良美 : 2014年2月

 上滝 新子 : 2014年3月
 丹羽 敦 : 2014年3月
 野田 景子 : 2014年3月
 三寺 宏美 : 2014年3月
 松岡 さくら : 2014年3月
 樋口 典子 : 2014年3月
 村田 亮 : 2014年3月
 木村 真弓 : 2014年3月
 緒方 久美子 : 2014年3月
 増田 隼 : 2014年3月
 龍岡 義道 : 2014年3月
 藪口 知子 : 2014年3月
 森本 真実 : 2014年3月
 峰村 ゆかり : 2014年3月
 中嶋 幸子 : 2014年3月
 徳田 美咲 : 2014年3月
 高橋 絵里奈 : 2014年3月
 高島 貴弘 : 2014年3月
 善明 勇二 : 2014年3月
 明瀬 未佳 : 2014年3月
 品川 梨絵 : 2014年3月
 山重 佳 : 2014年3月
 檀田 道広 : 2014年3月
 小西 淑江 : 2014年3月
 矢野 夕紀 : 2014年3月
 金子 友美 : 2014年3月
 古瀬 幸紘 : 2014年3月
 堀川 晃義 : 2014年3月
 中屋敷 俊典 : 2014年3月
 森元 瑞穂 : 2014年3月
 森脇 三枝 : 2014年3月
 榊田 早紀 : 2014年3月
 矢野 絵美 : 2014年3月
 辰巳 昌江 : 2014年3月
 占部 政也 : 2014年3月
 栗田 靖久 : 2014年3月
 桑原 萌 : 2014年3月
 三苫 達哉 : 2014年3月
 中西 恵 : 2014年3月
 森 友美 : 2014年3月
 水上 愛 : 2014年3月
 中尾 香織 : 2014年3月
 新庄 玉恵 : 2014年3月
 新北 幸子 : 2014年3月
 河野 貴則 : 2014年3月
 緒方 智佳 : 2014年3月
 大野 由実 : 2014年3月
 今井 淳子 : 2014年3月
 今井 健人 : 2014年3月

秋武 祐生 : 2014年3月

 辻野 涼子 : 2014年4月
 小林 由佳 : 2014年4月
 菊池 豊 : 2014年4月
 坂田 波瑠子 : 2014年4月
 富永 里香 : 2014年4月
 北原 雅代 : 2014年4月
 釘崎 大樹 : 2014年4月
 植村 綾子 : 2014年4月
 濱崎 英朗 : 2014年4月
 樋口 真佑 : 2014年4月
 大西 安世 : 2014年4月
 北村 愛美 : 2014年4月

 平尾 美和 : 2014年5月
 大中 美希 : 2014年5月
 深町 綾乃 : 2014年5月
 佐藤 麻衣 : 2014年5月
 麻生 沙弥香 : 2014年6月

＊会員の皆様へ＊

これまで、会員の皆様の異動状況を会報にて報告してまいりましたが、「事務所へ報告はするが、会報への掲載は望まない」という要望もございます。異動等の報告の際、会報への掲載を希望されない場合は所定の用紙（異動届等）にその旨ご記入ください。

異動の際の手続きについて

職場・自宅等の変更のあった方は、必ず文書で県協会事務局へご連絡下さい。

協会ホームページ (<http://www.fuku-ot.org/>) へアクセスし、入会・異動・退会の項から届出用紙をダウンロードして下さい。

用紙に異動前・後の施設名、郵便番号、住所、電話番号を明記して下さい。自宅住所の変更もお忘れなくお願いします。

ご不明な点は、福岡県作業療法協会事務所までお問い合わせ下さい。

TEL 093-952-7587

編集後記

サッカーワールドカップを見ながら（ブラジル・コロンビア戦）編集後記を書いています。4年に1回のお祭り騒ぎ、私は普段サッカーはみないいわゆる「にわか」というやつで、このときばかりはナショナリズムをむき出しにしてわが日本を応援します。その応援のせいか、日本は残念ながら1次リーグ敗退となってしまいました。しかし、ワールドカップ出場そのものが夢であった20年前に比べると堂々と目標を優勝といえる選手が現れたことは非常に頼もしい限りです（次回に期待！）。作業療法学会でも先日、4年に1回のOTの国際学会WFOTが開催され、ワールドカップに負けないぐらいの盛り上がりを見せました。文化、宗教観、システム、作業療法の置かれている立場など世界各国の作業療法士の話は刺激になるとともに自らの視野の狭さをつよく感じた学会でもありました。日本からも優秀な演者が多数発表され、シンポジウム、機器展、公開講座など日本の作業療法をアピールし、強いインパクトと感動を与えることができたことだと思います。学会運営関係者の皆様、本当にお疲れ様でした。次のWFOTの開催地は南アフリカです！今度は英語で発表だ！・・・ん、ネイマールが倒れている？

(S沼)



体に合った車いす・目的に合った車いす
をご提供します
車いす・介護用品・福祉用具レンタル

本社／福岡市中央区天神 5-4-15
営業本部／糟屋郡粕屋町仲原 3丁目 9-20
TEL／092-938-2208
HP／<http://www.takisyoikai.co.jp>

タキ商会

医療福祉の多彩なエキスパートを育てる。

国際医療福祉大学大学院

福岡天神キャンパス（福岡県福岡市）
大川キャンパス（福岡県大川市）

【医療福祉学研究科】

修士課程

保健医療学専攻

医療福祉経営専攻

臨床心理学専攻

博士課程

保健医療学専攻

●看護学分野 ●ナースプラクティショナー養成分野 ●助産学分野 ●理学療法学分野
●作業療法学分野 ●言語聴覚分野 ●視機能療法学分野 ●福祉援助工学分野
●リハビリテーション学分野 ●放射線・情報科学分野 ●生殖補助医療胚培養分野
●医療経営管理分野 ●診療情報アナリスト養成分野 ●医療福祉国際協力学分野
●先進的ケア・ネットワーク開発研究分野 ●医療福祉学分野
●医療福祉ジャーナリズム分野

●看護学分野 ●助産学分野 ●理学療法学分野 ●作業療法学分野 ●言語聴覚分野
●視機能療法学分野 ●福祉援助工学分野 ●リハビリテーション学分野
●放射線・情報科学分野 ●生殖補助医療胚培養分野 ●医療福祉経営専攻
●診療情報管理・分析学分野 ●医療福祉国際協力学分野
●先進的ケア・ネットワーク開発研究分野 ●医療福祉学分野
●医療福祉ジャーナリズム分野 ●医療福祉心理学分野

【薬科学研究科】

修士課程

生命薬科学専攻

【薬学研究科】

博士課程

医療・生命薬学専攻

※専攻、分野によっては、受講できるキャンパスが限られているものもございますので、詳細につきましては、お問い合わせ下さい。※短大卒・3年制専門学校卒で進学可能（修士課程）



- ◆ 社会人の方も働きながら無理なく受講できます
- ◆ 一流教授陣の講義をリアルタイムで受講できます
- ◆ 研究者志向の方のニーズにも対応できます

分野・領域についてのお問い合わせ・資料請求先

福岡天神キャンパス

〒810-0072 福岡県福岡市中央区長浜 1-3-1
TEL 092-739-4321 E-mail fukucamp@iuhw.ac.jp

（平成25年4月より下記に移転予定）

福岡県福岡市早良区百道浜 3-6-40（福岡国際医療福祉学院内）

大川キャンパス

〒831-8501 福岡県大川市榎津 137-1
TEL 0944-89-2000 E-mail oocamp@iuhw.ac.jp

HP <http://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/>